

花粉症



今年も花粉症のシーズンに入りました。多くの人は、二週間位前から始つていきます。今年ハスギ花粉の飛散が多いといわれています。この地区では、一月末から花粉が飛んでいるのとことです。

一、原因



大半はスギ花粉です。
ヒノキの花粉もあります。
イネ科の植物
ブタ草など

その他
花粉ではありませんが、動物の皮膚、毛、ダニなどでも花粉症同様の症状を起こします。
花粉が花粉アレルギーを起す原因はハッキリしませんが、花粉+排気ガスが原因ではないかといわれています。



二、検査法は

血液や皮膚テストで分かりますが、症状を出した時期でほぼ分かります。

特にこの地区ではほとんどの人にスギ花粉に対する反応が出ます。そういうことなので私はあまり原因のアナトはやりません。



三、治療法

- 一般的注意
- a 室内のダニ除去
- b ペット(特にネコ)を寝室に入れない
- c スギ花粉をさける



飛散の多い日

外出をさける。窓戸を閉める。
マスク・メガネをつける。
洗濯物を外に出さない。
外出から帰った時家内に花粉が入らないようにする。



のみ薬を使う

- a 抗ヒスタミン剤
- 第一世代

効き目早い。眠くなる。
第二世代
効き目遅い。眠くならない。

- b ステロイド剤
- 効き目強いが、強い副作用



- c 漢方薬など
- 点鼻(鼻腔内噴霧)、点眼剤
- 注射

a 脱感作療法
花粉などの液を使う。長期かかり、効果はつきりしない

- b ステロイド剤：副作用強い

- c 血液製剤：副作用強い

手術

鼻の構造を変えるようなものです。



四、当院の方法

第二世代の抗ヒスタミン剤、点鼻、点眼剤
大体この組合せでうまくゆきます。

花粉症は主として耳鼻科の担当ですが、内科、小児科でも対応しています。
第二世代抗ヒスタミン剤は速効性がないので、シーズンより早目に使いはじめた方が効果的です。



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

受付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受付けにお出し下さい。

診察券は毎回お持ち下さい。

編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp

3月・4月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜

4月12日(土)休診

